

農業センター土づくり通信

第15号(発行:令和6年9月)【発行】旭川市農業センター

～ 土壌診断のススメ ～

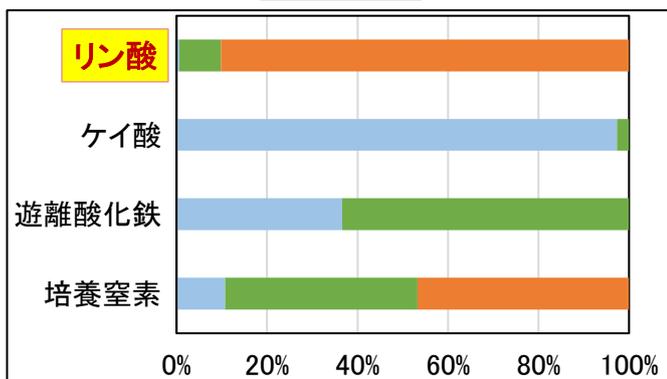
国内の肥料価格は、海外の原料市況の上昇や円安に加え、国内製造コスト上昇の影響も受け、依然として高止まりしています。値上がりの影響を少しでも抑えつつ生産性を保つために、**土壌診断**を行いましょう。

市内ほ場の土壌養分の傾向

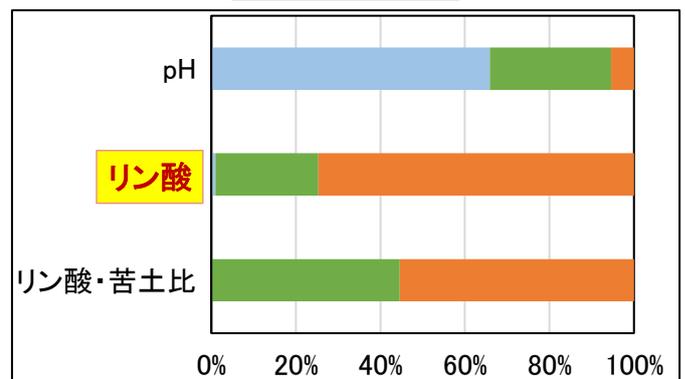
- 令和5年度の土壌分析値(農業者ほ場関係分)から、基準値に対する過不足の割合を示します。
- どの作目においても「**リン酸**」は多くのほ場で基準値を超えて蓄積しています。
- その他の項目に係る作目別の傾向は、次のとおりです。

■ 基準値より低いほ場 ■ 基準値内のほ場 ■ 基準値より高いほ場

水稲(本田)



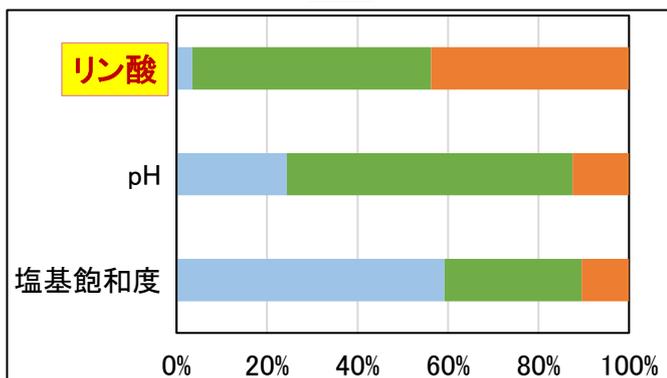
水稲(育苗床土)



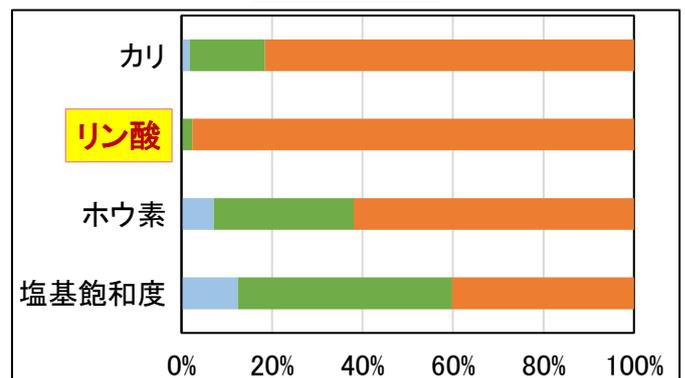
- 「**ケイ酸**」は、ほとんどのほ場で不足
- 「**遊離酸化鉄**」は、4割近くのほ場で不足
※ 生育や品質に影響する場合があります要注意

- 「**pH**」は7割近くのほ場で基準値より低い状態
- 「**リン酸・苦土比**」(苗の異常褐変防止の指標)は5割以上のほ場で基準値を超過

畑作



野菜(ハウス)



- 「**塩基飽和度**」は、6割近くが基準値より低い
- 塩基飽和度が低い ⇒ 「**pH**」も低い傾向あり
※ **収量性に影響**する場合もあるため、どちらの項目も適正域で管理することが重要

- 「**カリ**」・「**ホウ素**」も多くのほ場で基準値を超過
※ 養分の過剰な蓄積は**作物生育への悪影響**につながる恐れもある。
⇒ 養分バランスも含めた適正管理に注意

土壌診断によって、施肥量の過不足を見極める → 適正施肥の取組

- 土壌診断に基づき、不足している養分は施肥により補給します。一方で、基準値を超えている養分は減肥できる場合があるので、肥料銘柄の選定や施肥量の加減を検討してみましょう。
(例)・「カリ」と「リン酸」が過剰の場合 → 単肥配合又はカリ・リン酸含有率の低い肥料を選ぶ
・「ホウ素」が過剰の場合 → ホウ素やFTEを含まない肥料を選ぶ
- これら「**適正施肥**」を通じて、コスト低減を図りましょう。

～ 農業センターの土壌診断の紹介 ～

農業センター「土壌診断票」の特長

土 壌 診 断 票 (2020年03月08日作成) 旭川市農業センタ

農協受付番号 農 協 名 農協組合名 農家コード 氏 名 電話番号 FAX番号 受付年月日 サンプル種別
 旭川01 その他 旭川000011 花巻里 東土 2020年2月20日 98001

土壌タイプ 土 性 農 種 採土時期 メッシュ番号 備 考
 不明 壤礫土(Ck) 雑穀 収穫後地

サンプル名 耕作作物名 存付子実作物名 作 型
 No.1 米稲全層+側溝 米稲全層+側溝

1 土壌の化学性

分析項目	分析値	基準値
pH(H ₂ O)	5.7	5.5 ~ 8.0
ブレインリン酸 (mg/100g)	37	10 ~ 20
交換性石灰 (mg/100g)	180	150 ~ 300
交換性苦土 (mg/100g)	32	25 ~
交換性加里 (mg/100g)	88	15 ~ 30

石炭酸和度(%) : 31.7 塩基飽和度(%) : 48.7 石灰・苦土比 : 4.1 苦土・加里比 : 0.8

所 見
 ブレインリン酸及び交換性加里が基準値を超える一方で、苦土・加里比が基準値を下回ってはいますが、全般的に水稲の作付には支障のない範囲の分析値です。ただし、水稲栽培には必須のケイ酸について、可溶性ケイ酸含量が10.1mg/100gと低いので、密土後にケイカル120~100g/10aの施用が必要です。
 ※ケイ酸については一般的な水田と類似した分析値ですから、特に異常な土壌ではありません。

<特長1> ほ場状態を一目で把握できる
 肥料成分等の基準値に対する過不足を、視覚的に把握することができます。

<特長2> 施肥対応に役立つアドバイス
 上川農業改良普及センターが、分析結果に基づく施肥対応を、分かりやすくアドバイスします。

- 土壌診断を行う頻度は、**ハウスでは毎年、露地では3~4年に1回**が目安です。
- 肥料選びの際は、過去の診断結果を参考にできます。ただし、その後大幅に減肥した場合や、有機物を多量に施用した場合など、改めて土壌診断を実施する方が良い場合もあります。
- 土壌診断票の内容については、毎年1~3月頃に各地区のJAが開催する **施肥相談会** において、日頃の営農上の疑問等を含めて、農業改良普及員に直接相談することができます。
- なお、「**野菜・花き**」に係る相談は **農業センターでも対応可能** です。お気軽にお問い合わせください。

分析手数料

農業者は、より詳しい「**総合分析**」がオススメ!

● 総合分析(営農を想定した、化学性に関する総合的な分析)	1,170 円
● 一般分析(家庭菜園を想定した、必要最小限の項目を分析)	700 円

申込先

【地区別の各農協窓口へ申し込む場合】

農協及び地区名	受付窓口	所在地	電話番号
JA あさひかわ			
神楽・神居地区	神居資材センター	神居1条10丁目3-7	61-4475
永山地区	永山資材センター	永山1条19丁目3-5	48-9600
旭正地区	旭正資材センター	東旭川町旭正36-2	31-0044
JA たいせつ(東鷹栖地区)	本所営農センター	東鷹栖1条3丁目635-100	57-2357
JA 東神楽(西神楽地区)	西神楽営農センター	西神楽南1条2丁目639	75-4214
JA 東旭川	本所営農販売課	東旭川南1条5丁目8-22	36-2115

【農業センターに直接申し込む場合】

旭川市農業センター (所在地:旭川市神居町雨紛 TEL:61-0211)
※ 野菜・花きの栽培に関する相談・施肥指導等にも応じています。皆様の御利用をお待ちしています。